

術前患者のオピオイド性鎮痛薬服薬状況に関する調査

京都府立医科大学疼痛・緩和ケア科では、当院で全身麻酔下に手術を受けた患者さんを対象に、治療内容に関する臨床研究を実施しております。実施にあたり京都府立医科大学医学倫理審査委員会の審査を受け、研究機関の長より適切な研究であると承認されています。

研究の目的

術前にオピオイド性鎮痛薬を服薬している患者さんでは、術後の疼痛や合併症の発症率が高く、注意深い診療が必要であることが欧米の調査から明らかになってはいますが、わが国では術前患者における服薬状況については知られていません。本研究では、京都府立医科大学附属病院において全身麻酔下に手術を受けた患者さんを対象に、術前のオピオイド性鎮痛薬の服薬状況を実態調査します。

研究の方法

・対象となる方について

2015年1月1日から2020年12月31日までの間に、京都府立医科大学附属病院で全身麻酔下に手術を受けられた方を対象とします。

・研究期間：医学倫理審査委員会承認後から2022年12月31日まで。

・方法：当院で全身麻酔下に手術を受けた患者さんを対象に、診療録（カルテ）とDPCデータより以下の情報を取得します。年度ごとに入院患者数や入院期間、対象疾患などを集計します。

・研究に用いる情報について

情報：カルテ番号、生年月日、イニシャル、対象疾患、術式、入院期間、退院時の状態 等

・個人情報の取り扱いについて

患者さんのカルテ情報をこの研究に使用する際は、氏名、生年月日などの患者さんを直ちに特定できる情報は削除し研究用の番号を付けて取り扱います。患者さんと研究用の番号を結びつける対応表のファイルにはパスワードを設定し、インターネットに接続できないパソコンに保存します。このパソコンが設置されている部屋は、入室が管理されており、第三者が立ち入ることができません。また、この研究の成果を発表したり、それを元に特許等の申請をしたりする場合にも、患者さんが特定できる情報を使用することはありません。なお、この研究で得られた情報は研究責任者（京都府立医科大学 疼痛・緩和医療学教室 天谷文昌）の責任の下、厳重な管理を行い、患者さんの情報などが漏洩しないようプライバシーの保護には細心の注意を払います。

・情報の保存および二次利用について

カルテから抽出した情報は原則としてこの研究のために使用し、結果を発表したあとは、京都府立医科大学疼痛・緩和医療学教室において教授・天谷文昌の下、10年間保存させて

いただいた後、研究用の番号等を削除し、廃棄します。

研究組織

研究責任者：

京都府立医科大学 疼痛・緩和医療学教室 教授 天谷文昌

研究担当者：

京都府立医科大学 疼痛・緩和医療学教室 大学院生 大屋里奈

京都府立医科大学 疼痛・緩和医療学教室 大学院生 平川由佳

京都府立医科大学 疼痛・緩和医療学教室 大学院生 前田知香

京都府立医科大学 疼痛・緩和医療学教室 講師 小川 覚

京都府立医科大学 疼痛・緩和医療学教室 助教 早瀬一馬

京都府立医科大学 麻酔科学教室 准教授 上野博司

京都府立医科大学 疼痛・緩和医療学教室 病院助教 谷口彩乃

京都府立医科大学 疼痛・緩和医療学教室 病院助教 仲宗根ありさ

京都府立医科大学 疼痛・緩和医療学教室 病院助教 永井義浩

京都府立医科大学 疼痛・緩和医療学教室 病院助教 藤原 恵

京都府立医科大学 疼痛・緩和医療学教室 病院助教 丹波和奈

京都府立医科大学 疼痛・緩和医療学教室 病院助教 越田晶子

お問い合わせ先

患者さんのご希望があれば参加して下さった方々の個人情報の保護や、研究の独創性の確保に支障が生じない範囲内で、研究計画及び実施方法についての資料を入手又は閲覧することができますので、希望される場合はお申し出下さい。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としますので、2022年6月30日までに下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

京都府立医科大学疼痛・緩和医療学教室 教授・天谷文昌

電話：075-251-5177

受付時間：平日9時から17時